

2026年度青山学院大学一般選抜（個別学部日程）

地球社会共生学部

論述

【記述式の正解】

以下は標準的な解答例であり、別解がある場合があります。

設問1	問1	1.	A	2.	A	3.	C	4.	B
	問2	(a)	51.0	(b)	21.5				
設問2	問1	生態系サービスは市場で売買される一般的なサービスとは異なり、必要な人に必ず提供されるべきものである。多くは環境と人間の歴史的相互作用によって生まれ、一度失うと回復困難なものもある。また、非排他性かつ競争性があるため、過剰利用のリスクがある。(120文字)							
	問2	ハーディン氏は自己の利益を最大化しようとする資源が枯渇するため、私有化や国有化によるコモンズの管理を提案した。一方、オストロム氏は資源そのものと、管理する仕組みを分けて考え、地域コミュニティなどの自発的な協力でコモンズの維持管理が可能なことを示した。(124文字)							
設問3	問1	② ⑤							
	問2	多くの人々が貧困や気候変動、紛争、雇用不安などのリスクにさらされ、わずかな衝撃で生活が崩れる可能性があるため、レジリエンスが必要だと述べている。(72文字)							
	問3	持続可能な社会の実現には「社会的保護制度の整備と拡充」が不可欠だ。文章Aは、気候変動や紛争、経済的ショックが貧困層を再び貧困に追い込み、インフォーマル雇用や雇用不安が脆弱性を高めると指摘している。文章Bも、不平等が社会のショック対応力を弱め、貧困層への支援が届きにくくなる問題を強調している。これを改善するには、医療・教育・雇用保障などの社会的保護制度を充実させ、最低限の生活を支える仕組みを作ることが重要で、これにより社会の持続可能性が高まる。(223文字)							